

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年3月23日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(3月24日~4月23日) :

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北日本海側では平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側では平年に比べて晴れの日が多いでしょう。期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。一時的な寒気の影響でおそ霜のおそれがありますので、農作物の管理には注意して下さい。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

1週目(3月24日~3月30日) :

東北日本海側では気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では期間の初めは気圧の谷の影響で雨の日がありますが、その他の日は概ね晴れる見込みです。

なお、24日から25日にかけて、発達した低気圧や前線の通過に伴い、東北日本海側を中心に荒れた天気となるおそれがあります。

平均気温は高い確率が60%です。

2週目(3月31日~4月6日) :

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。一時寒気の影響でおそ霜のおそれがあるでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3~4週目(4月7日~4月20日) :

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北日本海側では平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側では平年に比べて晴れの日が多いでしょう。

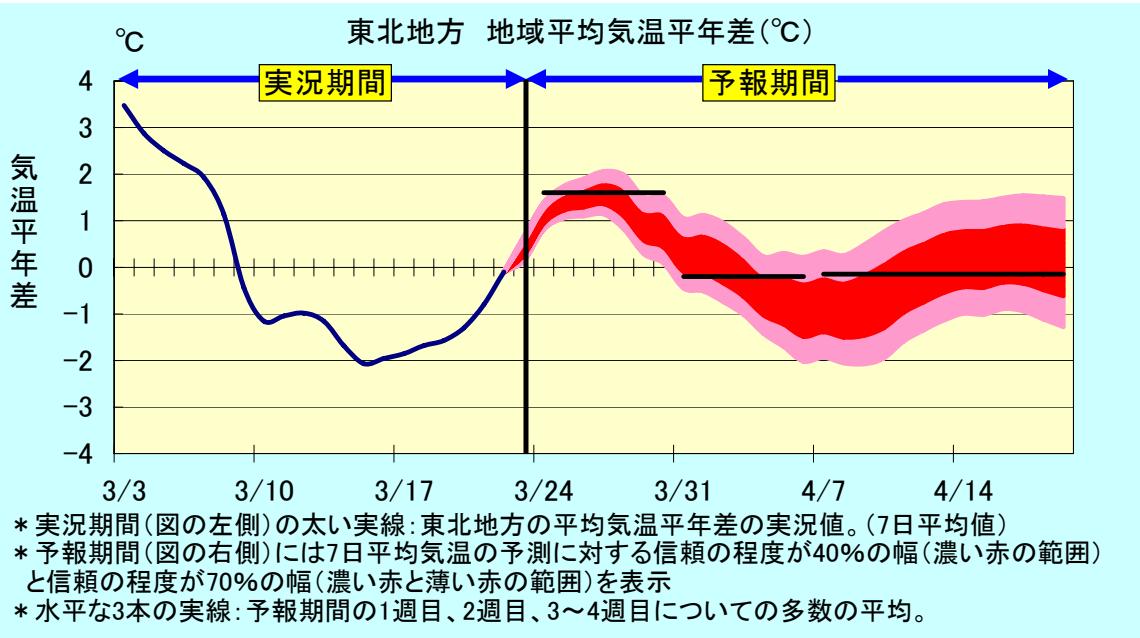
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	14.9日	3.6日	3.8日	7.5日
東北太平洋側	17.0日	4.4日	4.4日	8.2日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年を上回り、2週目、3~4週目は平年並付近の予想となっている。

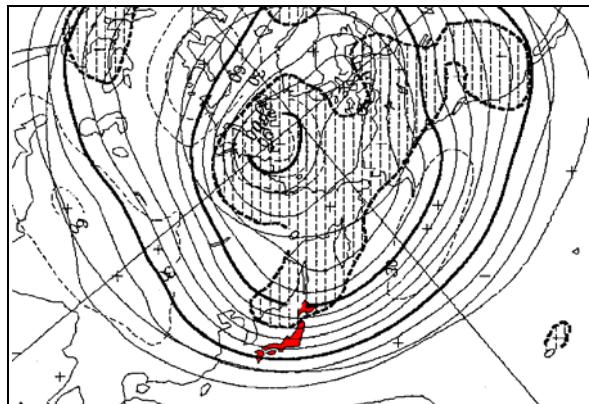


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

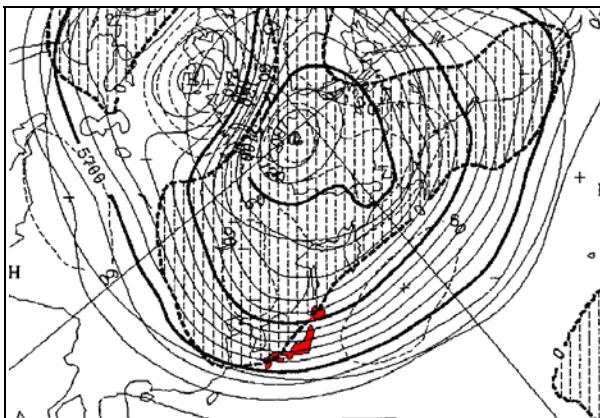
1か月平均：極渦は高緯度にまとまり、中緯度は概ね正偏差だが、北海道には負偏差域がかかる。

1週目：日本付近は西谷傾向で、北極を中心を持つ負偏差域が日本の西と北に広がる。一方、日本の東海上は正偏差域。このため、日本付近では低気圧が発達しやすく、気温が高くなることが予想される。

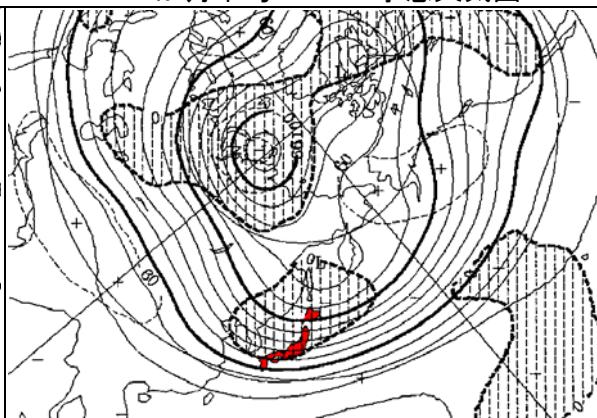
2週目：1週目に見られた極東の負偏差域は狭まるが、日本付近は日本谷傾向で、負偏差に覆われる。日本付近には一時寒気の南下が予想される。



1か月平均 500hPa 予想天気図



1週目平均 500hPa 予想天気図



2週目平均 500hPa 予想天気図

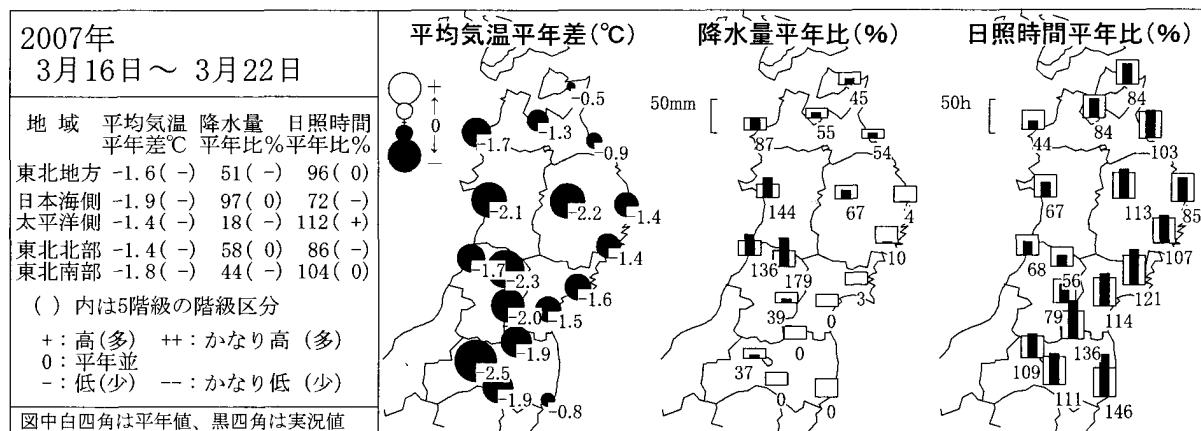
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（3月16日～3月22日）の天候の経過

この期間、16日から20日の前半までは冬型の気圧配置が続き、東北日本海側を中心に雪が降り、東北太平洋側では晴れた。20日後半には移動性高気圧が西から日本付近に進んで来たため、東北日本海側でも晴れ間が出た。21日は寒気の影響で東北日本海側では時々雪となり、22日には日本海低気圧の影響で曇りや雨又は雪となった。また、気温の低い状態が持続した。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）